

ASUNARO

# 翠檜 第九号

横浜商科大学留学生会発行

〒230-8577 横浜市鶴見区東寺尾4丁目11番1号

E-mail: ysosm2007@yahoo.co.jp

### ◆ おもな内容 ◆

p.2 平成十九年度留学生会の活動概要

p.3~p.6

『環境とビジネス問題』

—留学生フォーラム写真

p.7 【世界各地】私の故郷—青島

p.8 留学生ための就職情報



平成十九年度 横浜商科大学留学生会 課外活動 in 山梨県

### 留学生委員会委員長再任にあたって

留学生委員長 田端純一郎

思いかけず留任致しました。二年前は何の予備知識もなく、また、何をすべきか考える暇もなく、ただ目の前に与えられた事をひたすらこなすだけでした。それまであまり馴染のなかった留学生の人達と多く接する機会を持つことが出来、良くも悪くも異文化交流を体感することも出来ました。そして、これは僕だけではなく是非留学生や日本人の学生にも経験してほしいものだと思いました。留学生会の行事の充実を計ることによって、その方向は広がるものだと思っています。それから、留学生個人が充実した商大生活を送るための援助を留学生委員会として可能な限り、体制を整えていきたいと考えています。



# 平成十九年度 留学生会の活動



横浜商科大学では1973年に初めて留学生を受け入れてから、今まで多数の留学生が卒業しました。現在は68人在籍しています。留学生間の交流を深め、日本人学生と交流すること、および他大学の留学生と交流することを目的に、1983年留学生会が設立されました。以降大学祭の模擬店、留学生フォーラム、課外活動などを通じて、留学生相互の交流を図るとともに、日本人学生との交流を積極的に行うために、留学生会を組織しています。

ここで、留学生会の年間行事をご紹介します。

## 四月

### 新入生歓迎会

今年、23名の新しいメンバーを迎え、先輩とのコミュニケーションを深めながら、楽しい大学生活を送っていたため、横浜商科大学の開学記念日である4月18日(水)に新入生歓迎会を実施しました。



2007.04 鎌倉

## 六月

### 留学生課外活動

毎年恒例となっている留学生課外活動を、六月十六日・十七日の両日において実施しました。今回の課外活動に参加した学生は34名、教職員は7名、全部で41名となりました。そして、留学生の他に、日本人学生も参加しました。今年「武田信玄の歴史巡り、山梨食べ歩き」をテーマにし、日本の戦国時代における有名な武将―武田信玄の郷である山梨県に行ってきました。武田三代の祈願所として地元の方がよく通っている「富士御室浅間神社」や山梨の観光に欠かせない場所として知られている「武田神社」を拝観し、歴史を現場で学びました。そして、「甲斐の国 風林火山博」を見学し、史実に再現された武田信玄の時代

や軍師「山本勘助」について探求し、戦国時代の歴史を深く理解できました。



2007.06 山梨

他には、農業観光としてくらんぼ狩り工業観光として和菓子の製造工程を見学することができ、山梨の産業を自らの目で確かめ、いい体験ができました。また、先生方に考えていただいたクイズゲームや留学生主催のビンゴ大会、花火大会など多様な活動を通して、留学生、日本人学生、先生方との交流並びに親睦を深めることができました。

## 十一月

### 飯山祭に出店

11月3日、4日に行われた「飯山祭」の期間中で、校内の中庭で模擬店も出店いたしました。今回は飯山祭のテーマに合わせ、皆さんに楽しんでもらうため、豊富なメニューを用意しました。そして、今年は、コストの削減に力を入れ、準備から販売まで工夫しながら、活動に取り込みました。結果、今年は去年より三分の一の節約ができました。よって、今回の活動に参加した学生たちは心の中で達成感を感じているはずです。また、将来にも大きく役に立つと思います。



餃子を作っている様子

# 留学生 フォーラム

今年も留学生会は例年のようにフォーラムを行いました。テーマは「環境とビジネス」で、発表者は一年生が一人、四年生が二人でした。そして来場者も300人程で、やや少人数でしたが、とても

とても充実した討論会だったと私は思います。来場した本校の先生方や、一般の方は発表を聞いていただき、積極的に質問をしたり、自分の意見を述べてくださいました。そのおかげで、今回のフォーラムは国境を越え今日とても注目すべき問題「環境問題」について意見交換や交流ができ、私を含んだ来場した皆様は「環境とビジネス」問題について少しは勉強になったのではないかと思います。少し残念といえば、来場者が少なかつたことです。多分開催された時間はちょうど11月3日(土)の午後でしたので、都合が悪くなつた方が多かつたのではないかと思います。そして知らなかつたという方もいらっしゃいましたので、来年は宣伝活動をしっかりしていきたいと思えます。そして来年もフォーラムを行う予定ですので、皆様のご参加を心待ちしております。

(フォーラム司会者より)



留学生会 副会長 朴俊花

## 花

四年生 李順



## 地球の環境破壊

地球は私たちが生活しているのに唯一の惑星ともいえます。地球は我々人類が生活していくのに必要な水、空気、植物や食べられる動物、水産物また、鉱物など様々な物質を与えてくれました。しかし、我々が唯一頼って生きていく地球が現在、環境破壊による地球温暖化、空気汚染、海水汚染や土地汚染などで地球が悲鳴をあげています。

産業革命を始め、大量生産によって物質が豊かになり、大量消費の時代に踏み込みました。その結果使い捨て商品、販売促進による鮮やかな包装や過剰な包装がこの世にあふれています。特に百円ショップなど格安商品を手に入れるショップが現れ、安いからちよつと汚れたり、時間が経つたりすると即交換、もしくは安さを求めることにより、品質の衰えで使い捨てのような商品になり、ごみの増加と資源の無駄遣いで地球に負担をかけています。ま



フォーラムの議論場面

た、商品を売り出すためには、商品の宣伝は不可欠ではありますが、商品の二重三重の包装は必要ではないかなと思います。

最近、特に問題になっているのは地球の温暖化です。人口増加による消費量の増加、森林開発やごみによる汚染、二酸化炭素の急増が主な原因になります。二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの温室効果ガスの濃度が上がると、温められた熱を宇宙空間に放出する運動が妨げられ、地球が温室バリアーで包まれた状態になり、地表の温度が必要以上に上がってしまいます。そのあげく、我々が住んでいる地球は温暖化し、私たちが身をもって感じています。

マスコミでは温暖化により動植物の絶滅、電気消費量の増加、自然災害の増加や南極の氷が溶け、世界が沈没すると宣伝されています。誰でも一度は耳にしたことあると思います。

しかし、ザー仰天ニュースでは「二酸

化炭素が増えたら、地球は温暖化する！温暖化したら南極の氷が溶けて海面は上昇し、世界は沈没する」という説を否定しました。南極の氷は地球上の90%にも及ぶと言われており、この氷が全て溶けると海面は65mも上昇します。しかし、南極の氷ほとんどは氷点下より遥かに下で、中心部はマイナス50℃。周辺部でもマイナス15℃です。氷は0℃にならないと溶けないのですから、少々気温が上昇しても、南極の氷が溶けたりはしません。



発表者 貿易観光学科 李順花

す。実際、2002年度にNASAが南極の水を観察した結果、南極半島などの周辺部では水が溶け出しているが、中心部は水が厚くなっていることが判明しました。南極の水溶けで地球の沈没の恐れがないものの、地球温暖化がこのまま続けるようであれば、どんなに偉い科学者でも地球がどう変化するかを予想できないと思います。地球温暖化を防ぐには私たち一人一人の協力が必要になります。例えば、エアコンの温度を下げるため、こまめに消すことが重要です。また、省エネ機器への買い換えも有効です。

また、ペットボトルは、ポリエチレン・テレフタレート(PET)ペット樹脂を原料にしたプラスチック容器です。丈夫で割れにくい反面、自然に分解せず環境負荷が大きく、処理も難しいです。このため、1995年に制定された容器包装リサイクル法によってリサイクル義務の対象になり、分別回収が行われ、新しい再生技術の研究も進められています。牛乳パックから再生紙を、食品トレーからプラスチック製品をつくるように、一度「中間品」に戻してから、違う製品として生まれかえる方法をマテリアルリサイクルで、ペットボトルには軽量で衝撃に強く、安全で無公害

などのさまざまな優れた特長があり、そのため清涼飲料や醤油などの容器として、近年急速に需要が高まっています。ペットボトルを再利用することで、新たに石油から作られた原料を使って製品を作る必要が無いため、重要な資源である石油の節約にもなります。

私達は毎日様々なごみを作り出し、各自治体はそれをリサイクルしたり燃やしたりしています。少しでもリサイクルが増えるようにペットボトルなどを「♻️」と「♻️」をちゃんと分別したり、牛乳パックや食品トレーなどの汚れを水洗いできずに洗ってからのリサイクルに出すべきです。各自治体によってごみの出し方や分別の仕方が違いますので、各自治体で配っている、ごみの分け方出し方しおりを読んでからごみを出したほうが良いです。



発表者 貿易観光学科 崔紅玲

一年生 崔紅玲

経済成長と社会の発展の過程で、人間活動が活発化するに伴い、環境破壊が目立ってきました。

例えば、宅地造成や道路建設等による自然の破壊が増えていきます。また、農業による土地の汚染などの現象がみられます。大気汚染でも硫黄酸化物、一酸化炭素に加えて、自動車の排出ガスからの鉛化合物、オキシダント等の光化学スモッグといった新しい現象が生じています。それから、家庭から排出された電気製品、自動車等の粗大ゴミが多くなり、プラスチック等合成化学製品の増大はゴミ処理に難問を投げかけています。

環境、社会、経済活動の3つのバランスを考えなければなりません。自然へのダメージが、世界に広がり、人間社会が自然に与えるダメージは、一気に増大しました。人間は、あたかも自然から独立したようにふるまい始めました。自分たちが自然の一部であることを忘れてしまった人間に遠くにある農場のようなものであり、無限大のごみことを忘れてしまった人間に遠くにある農場のようなものであ

## 環境とビジネス問題

り、無限大のごみ捨て場でした。大量の資源を使って、大量生産、大量消費、大量廃棄の時代が始まりました。産業化は豊かな社会の象徴でした。さまざまな公害が発生しましたが、それらは局地的な問題であり、地球環境全体の問題としては認識されませんでした。

近年、自然へのダメージは、社会のストレスとなって現れ始めました。自然環境の回復力を超えたダメージは、社会を通じて、経済に「ストレス(A)」を与え始めると同時に、社会そのものの行きづまりからも「ストレス(B)」が発生し、経済にダメージを与えています。人間は、異常気象による洪水や疫病の蔓延など、環境破壊が社会の存続そのものに危険を及ぼすことに気付き始めました。また、地球温暖化やオゾンホールなどが広く知られることにより、人間社会から排出される負荷は、地球環境全体に影響を与えているという認識も広がり始めました。今や、環境保全は世界的な課題となつていきます。経済活動の主体である企業は、環境保全に真剣に取り込んでいないと、社会からの支持をえら

なくなってきました。これは、企業の存続にも影響を与えます。社会的責任投資やエコファンドなどの増加も、こういった社会の意識の変化を表しています。すなわち、環境保全の必要性があると思います。従って、企業も環境問題に向き合わなければならぬとなりました。その例として富士通の例を挙げてみようと思います。従来の富士通は製造業であるため部品の調達から生産した製品の配送まで運輸手段として極めて大量の車が必要でした。これらの車から出る排気ガスは莫大でありました。また、取引相手の要望を満足させるために「多品種、小口、多頻度」配送に対応しなければならぬため、なお更、車の数が必要となりま

して車の数が急減し更に排気ガスを減らすことが出来環境保全に大きく貢献することができました。企業活動だけではなく我々個人の生活も環境に大きく影響を与えています。このまま経済発展のために、環境を破壊してもいいのでしょうか？ 私たちには後の世代のために環境を守る義務があると思います。ゴミを出さない、ごみを作らない、不要品を資源として完全にリサイクルする社会秩序をコストが掛かっても作り上げるように、社会と企業と個人の意識と姿勢を変え、それを実行する必要があります。

環境を守るためにできることは多くあると思います。地球温暖化防止をするために、私達自身ができる活動があります。それがエコライフ活動です。地球環境を破壊しないような電化製品や、自動車を購入することも立派なエコライフ活動です。これから先、私達一人ひとりの協力があつてこそ、これらの地球環境を守っていくことができるのです。こうした活動を広げていき、もっと地球にやさしいことをしていきたいと思います。

# 故郷の空

— 中国、内モンゴル自治区  
オルドス市経済発展と砂漠化防止

四年生

劉玗

近年、中国の経済発展が注目されています。内陸の内モンゴル自治区、特に、オルドス市という小都会の発展が更に目立っています。しかし、経済は発展していますが、環境問題はますます厳しくなっています。本稿は、私の出身地の経済発展と環境問題について、紹介していきます。

十一月に入り冬が近づいてきました。気温がこれからだんだん寒くなってきました。そのため、最近、最も高級素材として、人気が増えます。高まっているカシミヤというものが流行しています。カシミヤというものは、そもそもヤギの毛が原料で、ウールよりも非常に軽いつとろが魅力です。また、肌触りの柔らか

カチカ刺激してセーターが苦手という方も、カシミヤは一番よい選択だと思います。世界で有名なカシミヤの生産地は中国の内モンゴルの高地、特に、オルドス高原というところに住むアルバサヤギの毛は極上質と言われています。中国で一番有名なブランドはオルドスカシミヤというものです。

しかし、カシミヤと環境問題の間に直接関係があると言われています。生産力を上げるために、大草原を移動して歩いていた伝統的な遊牧ではなく、土地を個人所有にして、囲い込んで移動を制限し、家畜を飼うようになったことにあるようです。ちなみに、ヤギは草を食べる時に、癖があります。それは、根を掘るといことです。そのため、土壌は固くなくなってしまう、風が吹くと、土は砂になってしまいます。それは、黄砂の生成の主要な原因と言われています。値段が高いイメージのカシミヤを安く入手するために、生産量を上げなくてはならないので、現地の土地が砂漠化になることの原因にもなっています。実際、カシミヤを着てはいけないということではなく、ここで、言いたいことは『ものを大切にすることもつたない』という精神やライフスタイルということです。内モンゴルは、もともと緑の大草原というイメージがありました。が、徐々に減少してしまっています。現地の環境は悪く、特に、砂漠化の環境問題は世界

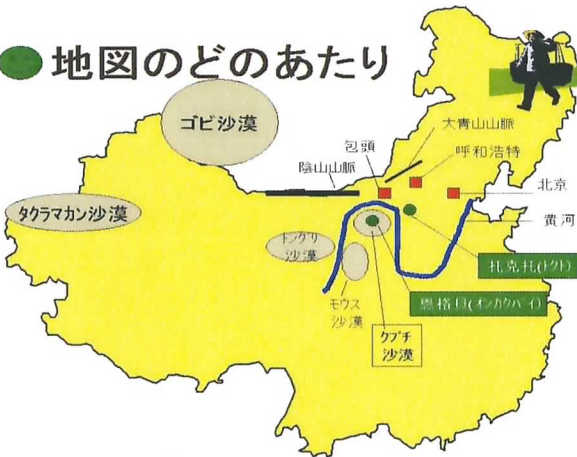


発表者 貿易観光学科 劉玗

では注目されています。

近年、日本では、春になると、黄砂という悪天候が頻繁に現れています。実際、内モンゴル現地は更に厳しいです。最悪な場合、視線の5メートルのエリアでも見えないです。昼間でも夜だと感じさせてしまいます。こんな状況では、人間として、大変としか言えないと思います。車が一晚で汚れることは日本でもありません。砂漠化の拡大の防ぐために、地球の肺と言われる森林を更に植えられなければならぬと思われています。つまり、砂漠を整治するのと、同時に、砂漠も利用することが必要であると思います。旅行や観光として、生態旅遊という新しい形の旅がますます人気になってきます。生態という言葉は、日本語のそれとは多少意味が異なり、人間の手が増えられていない手つかずの自然を指しニユアンスが強いそうです。生態旅遊とは、名所や旧跡を訪ねることではなく、自然環境の優れた場所へ行くことを意味します。中国では、その場所は『生態開発区』と呼ばれています。(生態旅遊は、世界的に見られるエコ、ツーリズムの本質と通ずる一面があります。橋本は『観光人類学の戦略』の中で、エコ、ツーリズムの登場についてつぎのように分析しています。世界の先進国は自らの手で自然を破壊しながら、自然の大切さを説く。そして、自分たちの生活スタイルをなんら変えずに、途上国の自然保護を語る。それには地球の環境危機の議論を先延ばししようという習いすら見え隠れ、自然保護の名目でも新しい開発を企む可能性もある。エコ、ツーリズムは自然保護の美辞を弄したビジネスであると指摘している(橋本1999:266-289)オルドス市の現状はまさにその中国版であるといっても過言ではなからう。

### ● 地図のどのあたり



ら、自然の大切さを説く。そして、自分たちの生活スタイルをなんら変えずに、途上国の自然保護を語る。それには地球の環境危機の議論を先延ばししようという習いすら見え隠れ、自然保護の名目でも新しい開発を企む可能性もある。エコ、ツーリズムは自然保護の美辞を弄したビジネスであると指摘している(橋本1999:266-289)オルドス市の現状はまさにその中国版であるといっても過言ではなからう。

この生態開発区について、現地では、良いケースがあります。中国、内モンゴル自治区クブチ砂漠恩格貝旅遊区と言います。それに関する位置と現状、歴史と発展、環境作用と経済効果について、紹介

していきます。位置は中国の黄河付近で、ちょうど曲がっているところです。恩格貝と言えば、誰もが敬意とともに一人の日本の老人を思い描くと思います。その老人とは、鳥取大学の遠山 正瑛教授です。1990年、83歳の遠山教授は内蒙古の恩格貝を实地調査し、翌年、彼はボランティアを率いて毎日、恩格貝砂漠に行き、10時間以上も休むことなく炎天下の砂漠で作業しています。遠山教授の真摯な訴えに動人の日本の老人を思い描くと思います。10年間に7000名してきました。その中には、小学生や元関係も含まれています。このため、2003年8月、「アジアのノーベル賞」と言われているフリーピンのマゲサイサイ賞「平和・国際的相互理解分野」の受賞者となりました。1998年来日した江沢民中国国家前主席と遠山先生固い友好に握手した。2004年2月27日、遠山教授は病のため永眠し、その遺骨は本人の願い通り、現在はオアシスに生まれ変わった恩格貝に葬られました。実際の砂漠では森を作ることを想像すれば、ありえないことだと思われるでしょう。確かに、最初は極めて大変でした。しかし、神話ということは本当に現実になりました植えられた木は約80%が活着しています1995年までに100万本、1998年までに200万本、植林され、2001年現在で累計は3000

。万本を超えました。森が生まれ、動物たちが戻り、ついには湖までできました。このため、クブチ砂漠恩格貝生態旅遊区を創設しました。現在、中国では有名な砂漠生態観光地の一つになっています。また、現地の旅行事業に大きく貢献をしています。



中国・内モンゴル自治区クブチ砂漠 恩格貝(オンカクバイ)旅遊区

人間は自然の一部として、両方のプラス関係を調和するという言葉が一番適切だと思えます。日本AC公共広告機構のスローガンを引用し、「明日のために、いま始めよう。」



# 私の故郷ー



三年生 王昱

日本に来てもうすぐ五年目になります。この五年間に故郷に対する感情はまだまだ変わって変わって変わっていません。わたしの心の中で故郷は一番美しいところで、青島の人として本当に自慢しています。

私は2002年の10月に日本にきました。この前まで故郷はただ普通の小さい都市にすぎないと思っていました。日本に来てから、やっと故郷の美しさが分かってきて。故郷を離れた人は離れる時間が長ければ長いほど郷愁を深く起こさせることが分かってきます。多くの人は北京と上海は中国の一番いいところだと思われています。北京の悠久の歴史と上海のにぎやかさは多くの注目が集まりました。でも、青島も少しも遜色がない。故郷の赤い屋根、緑の木、青い海、青い空、青い山が多くの人々に深い印象を残し。2008年オリンピックのヨットの試合は青島で行うので、今はヨットの白い帆も一つの景色になりました。

故郷はただ山紫水明だけではなく、悠久のビール工業もほめる話であります。休みのとき、友達と外食する時に絶対青島のビールを注文し。少し飲んだ後、故郷の思い出がすぐ心に浮かんできます。私は海の娘なので、海に対しては特別の感情を持っています。海を見ることがだけでも、胸がさつぱりします。子供の頃から、楽しい時も悲しい時も、海にいて、すべての感情を海に解放します。今でもこの習慣を変えていません。故郷の四季がいずれも趣があるけど、私は一番好きなのはやはり夏である。海で泳ぐこと、アサリの炒め物を食べる、ビールを飲むことは青島のおかしなところだと言われます。なんでだろう。何万人が一つの海水浴場で泳いだ体験がありますか？(水ギョーザをゆでるような気持ちがある)食べ終わったアサリの貝を山のようにつむ光景を見たことがありますか？(アサリの炒めは青島の第一の海鮮料理)生ビールをビニール袋に入れることをやったことがありますか？(青島の人は酒量が多いから)このような事を自分の目で見た人はぜひ私の故郷に遊びにきてください。



## A GUIDE TO EMPLOYMENT FOR FOREIGN STUDENT

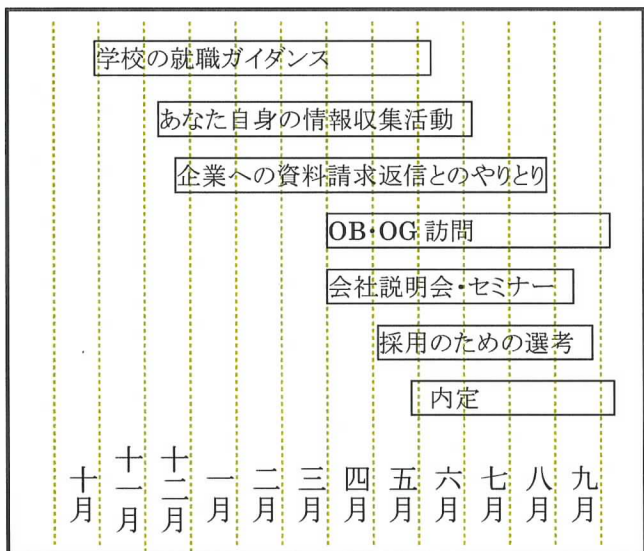


### 留学生のための

### 就職情報

日本人学生にもそうであるように、留学生にとっても就職は大きな問題です。その就職希望先も日本での就職を望む人、母国で就職を希望する人、他の国で就職したい人、と様々です。しかし一方で、留学生の就職に関する情報が少ないのが現状です。今回『翌檜』では、皆さんからのもっと留学生の就職について知りたい！という声にお応えして様々な情報をお届けします。

### 就職活動スケジュール



(月)



学科	分類	進路先
商学科	就職→正規	スパイスロード株式会社
貿易・観光学科	無業→自己都合	帰国
貿易・観光学科	無業→自己都合	
貿易・観光学科	就職→正規	有限会社ワールドテレコム
貿易・観光学科	無業→自己都合	
貿易・観光学科	無業→自己都合	
貿易・観光学科	無業→自己都合	
貿易・観光学科	就職→正規	台湾晟好公司
貿易・観光学科	無業→自己都合	帰国後活動
貿易・観光学科	進学→留学	留学先未定
貿易・観光学科	就職→自営	企業名・業種不明
貿易・観光学科	就職→正規	株式会社世亜企画
経営情報学科	進学→大学院	桜美林大学大学院
経営情報学科	就職→正規	株式会社京浜ガードサービス
経営情報学科	無業→自己都合	帰国してから就職する
経営情報学科	就職→正規	トランス太平洋株式会社

学科	分類	進路先
商学科	就職→正規	有限会社中山商店
貿易・観光学科	無業→自己都合	韓国へ帰国
商学科	進学→大学院	日本大学大学院
商学科	進学→大学院	関東学院大学院経済研究科
商学科	就職→正規	有限会社 NED (設計事務所)
貿易・観光学科	無業→自己都合	帰国する
貿易・観光学科	進学→大学院	東京学芸大学大学院 多文化多言語研究科
貿易・観光学科	無業→自己都合	台湾に帰国して求職
貿易・観光学科	無業→自己都合	台湾に帰国して求職
貿易・観光学科	就職→正規	横浜倉庫株式会社
貿易・観光学科	就職	日本で就職希望
貿易・観光学科	無業→自己都合	VISA 変更で在留する (配偶者 VISA)
貿易・観光学科	進学→大学院	横浜国立大学大学院 国際経済専攻
経営情報学科	無業→自己都合	中国に帰国
経営情報学科	進学→大学院	立教大学大学院独立研究専攻 ビジネスデザイン研究科
経営情報学科	進学→大学院	関東学院大学院 (経営管理)
経営情報学科	就職→正規	株式会社 IST ソフトウェア



就職ワード解説

① 就職ガイダンス

大学構内で就職活動を控えた学生に向けて行われる就職活動の説明会。就職課やキャリアセンターが主催となり、主な就職活動の大まかな流れや具体的なやり方について説明する。



② インターシップ

学生が春休みや夏休みを利用して、就業体験をする制度。期間は数日〜数週間が多いが、一日限りのものや数ヶ月など長期のものもある。企業のホームページやインターシップサイトで実施告知をしている。実際の採用に直結するものはまだ少ないが就職後のミスマッチや離職などの社会問題を背景に広がっている制度。

③ エントリー

学生にとっては就職前に業務を経験する貴重な機会となる。学生がうけたいと思う企業にその意志を示す第一段階として、企業が用意している採用サイトに自分自身の情報を登録する。登録を終えるとその企業から説明会のお知らせやエントリーシートが個人宛の郵便物やEメール経由で届く。



留学生向けお勧めサイト

東京外国人雇用サービスセンター

<http://www.tfemploy.go.jp/>

特定非営利活動法人国際留学生協会

<http://www.ifsa.jp>

全国留学生組合員ネットワーク

<http://isn.univcoop.or.jp/>

キャリアインフォメーション

<http://www.ejbox.com/carifo/>

